



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日
東

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所
 コード番号 8138 URL <http://www.sankyokasei-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大槻一博 (TEL) 06-6271-1881
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,021	6.3	25	△61.0	83	△36.1	25	△89.6
2019年3月期第2四半期	11,310	2.8	65	△33.6	130	△17.8	240	52.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △121百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 334百万円(△24.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	18.99	—
2019年3月期第2四半期	185.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,119	9,694	60.0
2019年3月期	17,743	9,776	54.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 9,667百万円 2019年3月期 9,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	42.50	—	42.50	85.00
2020年3月期	—	42.50			
2020年3月期(予想)			—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	4.9	180	△27.8	280	△20.4	140	△58.9	105.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,560,000株	2019年3月期	1,560,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	224,899株	2019年3月期	263,737株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,322,162株	2019年3月期2Q	1,296,454株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いているというものの、米中貿易摩擦の長期化などを背景に中国を始めとした海外経済の減速により輸出や生産に低下が見られるなど、景気後退感が強まるなかで推移しました。

このような状況の下、当社グループは、お客さま本位の積極的な営業活動に注力するとともに、市場の変化を先取りした提案型営業活動の推進など営業施策の強化に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は120億2千1百万円（前年同期比6.3%増）と増収となりましたが、販売費及び一般管理費の大幅な増加（前年同期比9.1%増）により、営業利益は2千5百万円（前年同期比61.0%減）、経常利益は8千3百万円（前年同期比36.1%減）と大幅減益となりました。販売費及び一般管理費が増加した主な要因は、基幹業務新システムの本番移行に伴う減価償却の開始、東京支社移転に伴う一時費用の発生及び昨年8月にタイで設立した合弁子会社SY RUBBER (THAILAND)社の初期運営費用であります。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、2千5百万円（前年同期比89.6%減）で、前年同期には不動産及び投資有価証券の売却による特別利益が2億1千6百万円あったため更に大幅な減益となりました。

なお、東京支社は2019年7月29日に従来と同じ中央区新川1丁目の“SHINKAWA EAST”ビル内の新事務所への移転を完了しております。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

[科学事業]

<土木・建材資材関連分野>

土木関連分野では、中部縦貫自動車道等のインフラ工事関連で地盤改良用のセメント添加薬剤が増加したほか、コンクリート関連顧客向け添加剤の新規納入などにより、地盤強化用パイル製造用薬剤等の減少を上回り増収となりました。

建材資材関連分野では、内装材の化粧材や壁紙等が低調で同用途のフィルムや薬剤は減少しましたが、建材ボード用工程薬剤の伸長に加え、昨年低調であった塗料関連薬剤と発泡断熱システム用薬剤が持ち直したこともあり増収となりました。

<情報・輸送機器関連分野>

情報関連分野では、自動車の電子化の拡大を背景に電子部品生産が引続き好調なことから自動車用部品、リチウムイオン電池用途の放熱材料が堅調に推移し、また電力関連への新規高機能樹脂の採用もありましたが、他方で一部半導体封止用樹脂や精密洗浄剤が減少し、売上は横ばいにとどまりました。

輸送機器関連分野では、オートバイの国内生産の縮小により一部の成型樹脂や車体用防振樹脂等は減少しましたが、車載用電装部材の伸長に加えて環境規制強化による排気ガス浄化関連薬剤の新たな採用があったことから増収となりました。

<日用品関連分野>

日用品関連分野では、製靴関連は落ち込みましたが、化粧品関連薬剤で新たな採用があり、また高品質が評価されている眼鏡レンズ機能性コート剤や化学品が堅調に推移し微増収となりました。

フィルム関連分野では、生鮮野菜、チルド食品等包装用途の拡大により防曇性やガスバリア性、低温耐ピンホール性などを有する高機能性フィルムは堅調に推移しましたが、食品用軟質包装フィルムの価格競争の激化で苦戦し減収となりました。

<化学工業関連分野>

繊維関連分野では、繊維の国内加工の縮小が続くなか、衣料用の染色整理用染料や染色助剤の落ち込みにより減収となりました。

化学工業関連分野では、東南アジアからの輸入基礎化学品及び化粧品関連原料向け化学品は増加しましたが、中国の爆発事故による安全対策規制強化による輸入化学品の価格高騰や玉不足の影響から一部輸入化学品の受注が出来ず、同分野全体では微増収にとどまりました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は100億1千2百万円（前年同期比7.0%増）と増収となりましたが、タイの合弁子会社SY RUBBER (THAILAND)社を含む営業費用の増加を吸収しきれず、営業利益は1億4千5百万円（前年同期比10.1%減）にとどまり減益となりました。

[建装材事業]

戸建住宅及び集合住宅の市況低迷により既存の造作部材、樹脂製品及び建具等の販売は低調に推移した一方、キッチン及びオフィス関連の新規商材は好調に推移しました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は20億8百万円（前年同期比3.0%増）と増収となりましたが、商品構成の悪化と販売経費増により営業損失は1千6百万円（前年同期は営業利益1千1百万円）と前年同期比で減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①. 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は前連結会計年度末に比べ、14億7百万円減少し96億1百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が8億5千6百万円、電子記録債権が5億1千5百万円、現金及び預金が7千4百万円減少し、商品及び製品が1億2千5百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、2億1千6百万円減少し65億1千7百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が1億7千4百万円、無形固定資産が2千4百万円、有形固定資産が1千7百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて、16億2千3百万円減少し161億1千9百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ、14億4千2百万円減少し52億5千8百万円となりました。これは主に、買掛金が6億4千8百万円、電子記録債務が5億7千7百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、1億円減少し11億6千6百万円となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債が6千3百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、15億4千2百万円減少し64億2千4百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、8千1百万円減少し96億9千4百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億4千7百万円減少し、自己株式処分の影響により7千8百万円増加したことによるものであります。

②. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、13億6千8百万円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ5億4千9百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は8千2百万円（前年同四半期連結累計期間は1億5百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の減少13億7千1百万円などの収入に対し、仕入債務の減少12億2千5百万円などの支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は1億5千1百万円（前年同四半期連結累計期間は3億1千9百万円の増加）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による1億8百万円、有形固定資産の取得による4千2百万円などの支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は1千万円（前年同四半期連結累計期間は1億4百万円の減少）となりました。これは主に、自己株式売却による9千6百万円などの収入に対し、配当金の支払額5千4百万円、借入金の返済による3千9百万円などの支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2019年5月9日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,482,900	1,408,027
受取手形及び売掛金	6,635,899	5,779,260
電子記録債権	1,782,105	1,266,189
有価証券	-	68,818
商品及び製品	793,589	918,980
仕掛品	84,922	40,823
原材料及び貯蔵品	75,973	62,779
その他	153,664	56,604
流動資産合計	11,009,055	9,601,484
固定資産		
有形固定資産	2,112,577	2,094,616
無形固定資産	229,502	205,048
投資その他の資産		
投資有価証券	4,225,957	4,031,509
退職給付に係る資産	36,704	30,635
その他	129,526	156,039
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,392,188	4,218,184
固定資産合計	6,734,269	6,517,849
資産合計	17,743,324	16,119,334
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,935,465	3,286,807
電子記録債務	2,110,161	1,533,077
短期借入金	5,000	-
1年内返済予定の長期借入金	34,988	28,363
未払法人税等	156,964	70,768
賞与引当金	63,456	66,545
役員賞与引当金	20,000	10,900
その他	374,646	261,912
流動負債合計	6,700,682	5,258,374
固定負債		
長期借入金	116,173	103,638
役員退職慰労引当金	286,579	293,094
退職給付に係る負債	2,494	2,757
その他	861,390	766,599
固定負債合計	1,266,636	1,166,088
負債合計	7,967,318	6,424,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,439,931	1,456,843
利益剰余金	5,500,686	5,470,702
自己株式	△535,795	△456,997
株主資本合計	8,121,421	8,187,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,584,568	1,437,157
土地再評価差額金	31,302	31,302
為替換算調整勘定	9,218	11,586
その他の包括利益累計額合計	1,625,090	1,480,045
非支配株主持分	29,494	27,677
純資産合計	9,776,005	9,694,871
負債純資産合計	17,743,324	16,119,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	11,310,453	12,021,327
売上原価	10,246,735	10,906,494
売上総利益	1,063,717	1,114,832
販売費及び一般管理費	998,686	1,089,484
営業利益	65,030	25,348
営業外収益		
受取利息	3,566	4,103
受取配当金	45,405	45,852
持分法による投資利益	6,747	4,792
仕入割引	1,869	2,161
その他	13,500	8,613
営業外収益合計	71,090	65,523
営業外費用		
支払利息	612	406
売上割引	2,481	2,205
為替差損	-	622
その他	2,053	3,941
営業外費用合計	5,146	7,176
経常利益	130,974	83,696
特別利益		
固定資産売却益	166,495	57
投資有価証券売却益	49,695	-
特別利益合計	216,191	57
特別損失		
固定資産除却損	199	3,306
投資有価証券評価損	-	413
特別損失合計	199	3,719
税金等調整前四半期純利益	346,967	80,034
法人税、住民税及び事業税	106,641	57,586
法人税等合計	106,641	57,586
四半期純利益	240,325	22,447
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△2,659
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,325	25,107

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	240,325	22,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,544	△147,411
為替換算調整勘定	△11,552	5,246
持分法適用会社に対する持分相当額	5,499	△2,036
その他の包括利益合計	94,491	△144,202
四半期包括利益	334,816	△121,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,816	△119,936
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△1,817

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	346,967	80,034
減価償却費	48,030	98,877
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,222	3,088
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,850	△9,100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	187	263
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△22,509	6,515
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	9,519	6,069
受取利息及び受取配当金	△48,972	△49,955
支払利息	612	406
持分法による投資損益(△は益)	△6,747	△4,792
固定資産除売却損益(△は益)	△166,296	3,248
投資有価証券売却損益(△は益)	△49,695	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	413
売上債権の増減額(△は増加)	235,433	1,371,354
たな卸資産の増減額(△は増加)	△180,311	△68,976
その他の資産の増減額(△は増加)	60,630	66,673
仕入債務の増減額(△は減少)	29,157	△1,225,769
その他の負債の増減額(△は減少)	△41,465	△155,122
未払消費税等の増減額(△は減少)	△50,759	25,123
その他	△168	△203
小計	159,985	148,147
利息及び配当金の受取額	50,505	75,682
利息の支払額	△612	△406
法人税等の支払額	△104,462	△140,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,416	82,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,612	△42,866
有形固定資産の除却による支出	△182	-
有形固定資産の売却による収入	232,740	57
無形固定資産の取得による支出	-	△2,920
投資有価証券の取得による支出	△110,596	△108,316
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	520,104	-
関係会社株式の取得による支出	△280,039	-
長期貸付金の回収による収入	2,496	2,496
投資活動によるキャッシュ・フロー	319,909	△151,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	25,000	15,000
借入金の返済による支出	△49,494	△39,160
リース債務の返済による支出	△24,734	△27,409
自己株式の取得による支出	△154	△439
自己株式の売却による収入	-	96,150
配当金の支払額	△54,808	△54,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,190	△10,806
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,557	4,865
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	312,578	△74,872
現金及び現金同等物の期首残高	1,605,111	1,442,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,917,690	1,368,027

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,360,592	1,949,860	11,310,453	—	11,310,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,360,592	1,949,860	11,310,453	—	11,310,453
セグメント利益	161,254	11,975	173,229	△108,198	65,030

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,012,738	2,008,589	12,021,327	—	12,021,327
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,012,738	2,008,589	12,021,327	—	12,021,327
セグメント利益	145,042	△16,491	128,551	△103,202	25,348

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。